

令和5年8月21日

蕨市長 頼高 英雄 様

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議

会長 林 大樹

### 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見について

本有識者会議は、市長より委員の委嘱を受けて、令和5年7月28日に蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略について検証を行った。

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる取組は、地方創生の推進に向けて概ね着実に実施されているものと思われるが、今後も、持続可能な都市として発展し続けるために、引き続き本戦略で掲げる取組を推進されたい。

なお、検証の過程で出された意見については、別添の「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見」に整理したので、施策・事業の推進にあたっては十分に配慮・検討されたい。

## 別添 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見

### (蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状について)

○若い世代の転入が多いが、一方でファミリー世代が転出していくという状況は課題である。蕨駅西口再開発の完了はファミリー層の定住にも大きく影響を与えるものと考えるが、今後も、住む人が長期的に定着するまちづくりを目指した施策の推進を引き続き図られたい。

### (蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略について)

- 今回、建替えの方針が示された市立病院は、地域医療の核として重要な役割を担っており、市にとって大切な施設であるので、今後の地域医療に対する一層の貢献を期待する。
- 小・中学校において英語教育の充実に積極的に取り組んでいるが、重要な取組なので、高校生にも支援することはできないか。
- 地域の活性化に向けては、地域で活躍する事業者が定着するというのも重要なファクターであると思うので、事業者の支援を今後の戦略のなかで更に打ち出していくということも検討されたい。
- 誰にもやさしいまちとなるために、道路の段差の解消なども重要なことであり、こうした道路環境などの改善にも一層取り組まれたい。
- 蕨にとって「河鍋暁斎」はとても大切な地域資源である。もっと大きく取り上げてPRし、まちのにぎわいづくりにつなげていくべきである。
- 高齢者が増加していくなかで、認知症対策はますます重要な取組となる。市の取組が広く行き渡るよう、また認知症への理解が広がるよう、周知・広報の取組を一層推進されたい。
- 地域の活性化にあたって、観光に関する取組、産業育成・振興の取組について、一層の充実を図られたい。蕨ブランドも一過性の取組に止まらず、継続的な産業の育成・発展につながるような展開を期待する。
- 先日、「わらてつまつり」が開催され大変にぎわった。市に人を呼び込むために、130年の蕨駅の歴史、新幹線が蕨駅から運ばれたという事実、市内のNゲージの企業などをより一層アピールし、積極的に活用を図っていくことができるのではないかと考える。
- 愛着の醸成のため、地元の歴史を、子どもたちをはじめ市民に伝えていく機会を設けることや、現在行っている職業体験としてのワーキングウィークの継続も重要である。